

2026年6月2日

## 狭い通路の台車搬送をそのまま自動化 国産 AMR 新製品『AspinaAMR150L』

台車を載せたまま通路幅 800mm 対応、150kg の搬送を実現

ASPINA（シナノケンシ株式会社、本社：長野県上田市／代表取締役社長 金子行宏、以下 ASPINA）は、製造現場の工程間搬送における自動化の課題に対応する国産の自律走行搬送ロボット（AMR）『AspinaAMR150L』（読み方：アスピナ エーエムアール ヒャクゴジュウエル）を開発しました。2026年6月開催の展示会「ROBOT TECHNOLOGY JAPAN 2026」（愛知県）で初披露し、同年8月より受注開始を予定しています。

本製品は、近年の人手不足に加え、既存レイアウトを維持したまま自動化を進めたいニーズの高まりを受けて開発しました。台車をリフトアップした状態でも幅 800mm の通路を走行できるスリム設計とすることで、人が台車を押して搬送していた工程をそのまま自動化することができます。さらに、最大 150kg の可搬重量に対応し、部品から完成品まで製造現場の様々な搬送工程に適用できます。



### ◆開発背景

**進まない自動化。その壁は「狭い通路」と「大きなレイアウト変更による現場負荷」でした。**

国内の製造現場では、人手不足の慢性化に加え、製品の多様化や品種切り替えの増加により、設備移設を伴うレイアウト変更が難しくなっています。こうした状況の中、「既存の搬送方法や物流動線などを前提としたまま自動化を進めたい」というニーズが高まっています。

しかし現場では、

- ・ 通路幅が 800～900mm と狭く、設備が密集している
- ・ AMR 導入のためにコストや時間をかけた大きなレイアウト変更は避けたい
- ・ 部品や製品は、荷姿や重量、搬送方法を変えずに搬送したい

といった制約により、既存の AMR ではサイズや運用面で合わず、「導入したいが現場条件に合わず踏み切れない」という課題が多く存在しています。

その結果、現在でも作業者が台車を押して搬送を行い、本来は付加価値の高い業務に充てるべき人員が、搬送作業に割かれているケースも少なくありません。

ASPINA は、自社工場での運用に加え、多くの製造現場への導入を通じてこうした課題に向き合ってきました。現場の運用実態やお客様の声を踏まえ、「導入しやすく、実運用で使い続けられる」AMRとして開発したのが『AspinaAMR150L』です。

## ◆『AspinaAMR150L』の特長

### 【特長 1】 台車・棚を載せても幅 800mm 通路に対応。現場を大きく変えずに導入できるサイズ感

『AspinaAMR150L』はリフト機能を備えた AMR で、最大 150kg の搬送能力と走行安定性を確保しています。スリム設計により台車や棚をリフトアップした状態でも、作業員 1 人が台車で荷物を搬送できる最小限の通路幅（約 800mm）しかない通路を走行可能です。これにより既存の通路幅や設備配置を大きく変えることなく、搬送の自動化に対応することが可能です。



### 【特長 2】 作業の流れに溶け込む使いやすさ

作業員の近くでの走行を想定し、走行速度や加減速を最適化することで急な動きを抑え、滑らかな走行を実現しています。これにより日常の作業になじみやすく、後から導入しても現場の流れの中で運用することが可能です。スリムな車体により通路でのすれ違いや交差にも配慮し、現場の動線を大きく変えずに運用できる設計としています。

### 【特長 3】 運用の変化に合わせて支え続ける拡張性

AspinaAMR は国内製造現場で多く使用されている PLC に対応し、エレベータや周辺設備との連携など、運用に応じたカスタムオプションを用意しています。一部の工程から導入を開始し効果を確認しながら、自動化のステップアップに合わせて用途や搬送工程を拡張可能です。

また、AspinaAMR シリーズ共通の操作アプリケーションにより、機種が変わっても操作性を維持したまま導入できます。

### ◆国産 AMR としての安心感

AMR 導入においては、万一のトラブル対応の迅速さや、継続的なアフターサポートが安定した運用の鍵となります。ASPINA は国内メーカーとして開発からサポートまでを国内で完結できる体制を強みに、導入後のアフターサポートやサービス体制にも注力しています。培ってきた技術力と信頼性をもとに、現場の状況に応じた最適なサポートを継続的に行い、安心して使い続けられる AMR 環境を支えます。

### ◆ハード仕様

	AspinaAMR150L
本体サイズ (W × D × H)	500 × 750 × 280 mm (リフト時最大：330 mm)
最大積載重量	150 kg
最小走行可能幅 (本体のみ)	640 mm
最小走行可能幅 (台車・棚搬送時)	800 mm (幅 660mm の台車・棚の場合)
最大速度	3.6 km/h
連続稼働時間	約 6 時間 (充電時間：約 1 時間)

※発表日時点での情報です。仕様・特長および外観は変更となる可能性があります。

### ◆展示会出展情報

ROBOT TECHNOLOGY JAPAN 2026 で『AspinaAMR150L』の走行デモンストレーションを行います。

- ・ 会期：2026 年 6 月 11 日 (木) ～13 日 (土) 10:00～17:00 (最終日は 16:00 まで)
- ・ 会場：Aichi Sky Expo (愛知県国際展示場)
- ・ ブース番号：E10 (展示ホール E)

展示会では以下の AspinaAMR も走行予定です。

- ・ AspinaAMR85L (85kg 可搬)
- ・ AspinaAMR300L (300kg 可搬)

## ◆ASPINA（シナノケンシ）について

ASPINA（シナノケンシ株式会社）は、1918年に創立し、企業理念に「世界中の人々の希望と快適をカタチにし、持続可能な社会の実現に貢献」を掲げ、精密モータ、アクチュエータ、ロボティクス製品などを開発・製造・販売しています。

RS ビジネスユニットは完成品事業部門として、製造現場向けソリューションの分野で、人手不足や生産性向上といった課題に対する製品・サービスを提供しています。

特に「ロボットとの協働」による現場負荷の低減をテーマに、自社開発の製造現場向けAMRを展開しており、『AspinaAMR100/85L』と『AspinaAMR300/300L』により、搬送重量に応じた最適な搬送を実現し、製造現場の自動化と作業負担の軽減に貢献しています。

### お問い合わせ

ASPINA（シナノケンシ株式会社）

RS ビジネスユニット

Tel：(0268) 41-1810 [AspinaAMR@aspina-group.com](mailto:AspinaAMR@aspina-group.com)

または

経営戦略室 広報課

Tel：0268-41-1848 [pr@aspina-group.com](mailto:pr@aspina-group.com)

AspinaAMR 製品サイト：<https://aspina-robotics.com/ja/products/amr/>

※AspinaAMR はシナノケンシ株式会社または関連会社の登録商標です。